2025 百年の杜づくり おしたのみどりキャンペーン

ファイナル特集

みんながみどりと触れ合い、癒やされるスポットへ
新たな交流と安らぎ育む心を満たす花とみどり

2009年にスタートし、今年17年目を迎えた「おしたのみどりキャンペーン」は、市民・企業・行政が一体となり、杜の都のみどりを未来につないでいくことを目的に展開しています。今回は、同キャンペーンの花壇造り支援を希望した団体の中から、地域の公園をみどり豊かでより魅力あるものにしたいと願い活動する、市民グループと地域の皆さんによる花壇造りの様子をお伝えします。

地域交流を育む 活気あふれる花壇へ

将監ふれあい公園

子どもからお年寄りまで、地域の皆さんが参加。完成した花壇を前にみんな笑顔で記念撮影

みんなで造る 花と憩いのスポット

仙台市泉区の将監ふれあい公園は、1986年の開園以来、地域の憩いの場として親しまれてきました。2019年より、隣接する公共施設の撤去と「将監みんなの複合センター」の新設に伴い公園の再整備が進められ、今年7月に「リニューアルオープン」。野外ステージや遊具、軽運動場、多目的広場などが整備され、地域の新たなランドマークとなっています。

今回、あしたのみどりキャンペーンで支援したのは、多目的広場にある時計台周辺の花壇。キャンペーンの協力者で、「花と緑の力で3.11プロジェクト（花プロ）」の鎌田秀夫さんの指導のもと、冬から春の期間も元気に育つ花々を植え、来園者がみどりに触れ合える憩いのスポットを造ることになりました。

ボランティアが活躍 色彩豊かな花壇が完成

秋空が広がった11月2日、花植えを楽しもうと大勢の人が集まりました。参加したのは、隣接する将監市民センター「ふれミーの秋まつりに訪れた子どもたちやその家族、散歩中のシニアなど、地域の皆さんです。花プロの鎌田さんから植え付け方のレクチャーを受けると、パンジー、ビオラ、シロタエギクなどの花苗やチューリップの球根を次々と植えていきました。参加者がスムーズに作業ができるよう、公園管理運営委員の皆さんと地域の中学生、高校生ボランティアがサポートし、苗の配置や上手な植え付け方をアドバイス。当日の1週間前にも地域の小・中学生ボランティアが集まり、花壇の水はけの改善や施肥などの作業を手伝い、この日に備えました。

作業開始から30分もすると、4つの花壇は花とみどりでいっぱいに。黄色、ピンク、赤、紫など、花色をテーマにしたにぎやかな花壇が完成しました。今回、ボランティアとして参加した将監中学校の井上葉月さんは「子どもたちと一緒に花壇造りができてよい経験になった」。同じく佐々木藍那さんは「みんなで一緒に造った花壇なので、今後もたくさんの人たちに見て楽しんでもらいたい」と話します。泉高校の渡部ひなのさんは「植え方を教えるのは少し緊張しましたが、みんなが楽しそうに作業していてうれしかった」と振り返りました。公園管理運営委員会委員長の及川信彦さんは、「地域の方々と共に花壇を造ることができてうれしい。メンテナンスなどについても、『ふれあい公園』という名前の通り、みんなで対話を重ねながら、活気ある公園となるようサポートしていきたい」と期待を込めて語ります。みんなで完成させた色彩豊かな花壇は、これからも地域の安らぎや新たな交流を育んでいくことでしょう。

大勢の子どもたちが、家族と一緒に花の苗を植えました

泉高校からボランティアとして参加した渡部ひなのさん

完成した花壇には、しっかりと苗が根付くよう丁寧に水やりをしました

中高生のボランティアに教わりながら、小さな子どもたちも楽しみながら花植え体験

将監中学校からボランティアとして参加した井上葉月さん（左）と佐々木藍那さん

みんなで造った花壇を見守るように設置された、あしたのみどりキャンペーンのプレート

バラ園を通じた 地域交流を目指して

仙台ばら会

みんなに喜ばれる 地域の集いの場へ

閑静な住宅街に位置する貝ケ森中央公園には、地域住民の目を楽しませるバラ園があります。管理しているのは、1952年設立の「仙台ばら会」。1995年からここを拠点に活動し、約100品種のバラを育てながらその魅力を発信してきました。昨年1月には花壇をリニューアル。品種ごとの表情や香りの違いが楽しめるよう、バラのアーチやレンガの小道を造りました。一旦は完成したものの、会では「もっと地域の皆さんに喜ばれる花壇にして、バラを介した集いの場をつくりたい」と考えるようにに。あしたのみどりキャンペーンの支援を受け、ガゼボ（西洋風の東屋）やガーデンアーチ、アイアンフェンスなどを新設して、さらに見応えのあるバラ園を目指します。

バラが紡ぐ物語で 安らぎと癒やしを

穏やかな陽気に包まれた11月16日、集まった会員の皆さんは、花プロの鎌田秀夫さんによるレクチャーのもと、ガゼボの組み立てや設置、公園入り口の整備など、担当班に分かれて作業を進めます。もともとガゼボを置く場所にはユキヤナギが植えられていましたが、市の許可を得て別の場所に移植し、事前に地固めも終えました。ここに、組み立てたガゼボを水平に据え、川砂やセメント粉で土台を造ったのち、バランスを考えながら石の乱張り平板を敷いていきます。一方、道路に面したバラ園の入り口では、通りからの眺めを華やかにしようとアーチとレンガ道を追加で設置。アーチには「仙台ばら会」のプレートを取り付けました。この日の作業は終了しましたが、今後はガゼボにつるバラを植え付け、バラに覆われた空間に仕上げる予定です。

リニューアルに際して、鎌田さんから「物語を紡ぐようにデザインすると、バラの表情が豊かに見えますよ」とアドバイスをもらったば会。会には、「香りのないバラは笑顔のない美人」という合言葉があり、バラのアーチを抜けて香りを楽しみ、ガゼボで美しい花に囲まれる、そんなストーリーを描いて花壇を造りました。

貝ヶ森中央公園内のバラ園に、レンガの小道とアーチ、ガゼボなどを設置する作業が始まりました

バラ園の整備に参加した会員の皆さん。副会長の末永紀恵子さんの手には「仙台ばら会」のプレートが

バラ園入り口には、散策できるようレンガが敷かれ、通りからも目を引くアーチが設置されました

土やレンガの運搬、ガゼボの組み立て、フェンスの設置など、各会員が分担し作業は順調に進みます

ガゼボは大勢の会員の手で組み立て、完成後「仙台ばら会」のプレートが取り付けられました

仙台市緑の活動団体「仙台ばら会」会長の鹿又博さん

「ここが近隣の方にとって安らぎの場所になり、市民の癒やしスポットとして広がってくれたらうれしい」と会長の鹿又博さん。バラ園では5～11月にかけて次々と花が咲き、5～6月に見頃を迎えます。バラの美しさと気品あふれる香りは、訪れた人々の心を満たしてくれることでしょう。

今後も、あしたのみどりキャンペーンは、みどり豊かな杜の都であり続けることを願い、市民一人一人にみどりがもたらす潤いや交流の輪をさらに広げていくことを目指し、花壇造りの支援など活動を続けていきます。

企画・制作／河北新報社営業局

たくさんの投稿ありがとう！ わたしの好きな「みどりのある風景」

あしたのみどりキャンペーンは、特設サイトにおいて、宮城県内のわたしの好きな「みどりのある風景」を募集。その結果906点もの写真をお寄せいただきました。たくさんの投稿ありがとうございました。今回のファイナル特集では、その中から一部を紹介します。

※各写真の紹介文は、投稿者のコメントをもとに掲載しています。また、新聞表記基準に合わせ、一部を修正・省略している場合があります。

みちのく杜の湖畔公園…（川崎町）
広がる秋空の下に黄色いキバナコスモス。緑から季節の変わり目を感じられました。
（2025年9月撮影）by:赤馬 堅 さん

輪王寺庭園…（仙台市青葉区）
紅葉前線通過中。真っ赤なもみじとみどりの共演です。
（2024年11月撮影）by:八木山のおやじバンド さん

猿々温泉…（川崎町）
猿々温泉の紅葉、赤に黄色に緑、きれいでした。
（2025年10月撮影）by:tomi さん

釣石神社…（石巻市）
受験生の長男が、釣石神社に行きたいと言うので一緒に訪れました。志望校に合格すると良いなーと願いながら綿飴につきました。
（2025年10月撮影）by:はなまる さん

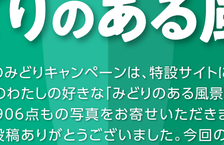
おしか御番所公園から望む金華山…（石巻市）
青い空、青い海、そして白い雲。金華山に向かう小さな船の白波がきれいで、秋晴れの日の1枚。
（2025年10月撮影）by:ポン太 さん

羽黒山公園…（大崎市）
彼岸花が満開でした～
（2025年9月撮影）by:たぁやん さん

やくらいガーデン…（加美町）
いつ出かけても、素敵ですね～
（2025年9月撮影）by:アンドーナツ さん

加美町の田園風景…（加美町）
船形山系のきれいな稜線が見える時期が、もうすぐやって来ます。
（2025年1月撮影）by:やくらいっこ さん

遠刈田温泉七日原…（蔵王町）
手前の牧草地は冬を前に刈り取られました。ここからの蔵王連峰もおすすめの場所。みやげ蔵王十六景プラス1に推薦します。
（2025年10月撮影）by:蔵王のなりちゃん さん



北三番丁公園…（仙台市青葉区）
もうすっかり秋の空です。
（2025年10月撮影）by:ジャッキーパパ さん

城山公園…（涌谷町）
桜の時期の通谷城跡もすてきなのですが、緑の中に映える白い城跡もいいものです。
（2025年9月撮影）by:ひろさん さん

せんだい農業園芸センター…（仙台市若林区）
いつも園内を散歩しています。季節の花がいっぱいあるので楽しいです。
（2025年10月撮影）by:えんちゃん さん

関上・名取川…（名取市）
かわまちてらす関上から見た名取川の中州、堤防の風景です。夏の名残を多くの人が楽しんでいました。
（2025年9月撮影）by:あごひげ さん

百々石公園…（丸森町）
阿武隈川を見下ろす景色がとてもきれいです。
（2024年11月撮影）by:CHIYOKO さん

多賀城南門…（多賀城市）
木陰のベンチに座って、悠久の歴史に思いを馳せるのもいいですよ。
（2025年9月撮影）by:K.Suzuki さん

松島…（松島町）
夏の日本三景松島、やはり緑豊富な海辺と青空。
（2025年8月撮影）by:船越いいぞぉ さん

鳴子峡…（大崎市）
宮城の代表的な紅葉の名所鳴子峡、海外からの観光客も戻って来ました。もう一つ戻ってほしいのは、隣将棄線の全線再開です。
（2025年10月撮影）by:香香 さん

投稿いただいた、わたしの好きな「みどりのある風景」はWEBサイトで公開しています。
―公開期間：2025年12月31日まで―
https://www.a-midori.jp あしたのみどり 検索

広瀬川の豊かな自然を、市民の手で次世代へ

第38回 広瀬川1万人プロジェクト　河川・海岸一斉清掃　開催

穏やかな晴天となった11月8日、「第38回広瀬川1万人プロジェクト 河川・海岸一斉清掃」が行われました。同プロジェクトは、「杜の都仙台」のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる河川とすることを目的に流域の一斉清掃を行うもので、毎年春と秋に開催されています。100万都市仙台の1%に当たる1万人をキーワードに、市民・企業・行政が連携し、2002年から活動を続けています。

今回は、広瀬川流域でクマの出没が確認されたため、2会場で開催を中止。忌避剤やクマ鈴を準備したほか、やぶや草むらを避け見通しのよい場所で作業を行うなど、対策を講じながら16の会場で実施されました。当日は約1200人がごみ拾いに参加し、合計約160袋分のごみを回収しました。空き缶やペットボトル、食品の包装材、たばこの吸い殻などが多く、大きなものではスチール製の建材なども見られました。参加者からは「開催時期が例年に比べて遅いので、回収するごみの量も多いと予想していたが、むしろ減っているように感じる」などの声が聞かれました。同プロジェクト実行委員会委員長で、牛越橋会場で活動を見守った梶谷真さんは「プラスチックごみなどは海洋生物への影響が深刻視されている。今後もプロジェクトに参加してくれる皆さんと共に清掃活動を継続し、広瀬川流域の豊かな自然環境を次世代につないでいきたい」と話します。

あしたのみどりキャンペーンでは、これからも植樹・花壇づくりなどの支援活動を継続するとともに、仙台のみどり豊かな景観や環境を未来につなぐための取り組みを応援していきます。

牛越橋会場の清掃活動に参加した市民の皆さん

各参加者が手分けして河川敷の清掃を行います

足元の小さなごみも見逃さず丁寧に拾います

芋煮会の跡にも、多くのごみが残されていました

作業終盤には、拾ったごみはかなりの量になりました

企画協賛

次代を見つめる環境のエキスパート SUZUKI 鈴木工業株式会社

東北ろうきん

FUJITSU

一般協賛

AKASAKA 街をツクル。 赤坂建設株式会社

Asahi

eat 株式会社イート

花と緑の提案企業 株式会社泉緑化 エクステリア＆ガーデン

環境にやさしい紙うちわ・スクラッチ IMAGE PARK イメージパーク

NTK CERATEC Niterra Group セラミックスで 創造と挑戦を楽しむ

よろこびがつなぐ世界へ KIRIN

伝承千年の宿 佐勘

SAPPORO 乾杯を もっとおいしく。

SUNTORY

日本三景松島を望む四季の美しさ 日本三景/松島 花ごころの湯 新富亭

未来につなぐ、地図を創る SENSOKU 株式会社センソクコンサルタント

仙台環境開発株式会社

仙台トヨペット

Sendai BMW

仙都タクシー

心を満たす、木の住まい。 ソネケン

dic Color & Comfort DICグラフィックス株式会社

建設コンサルタント / 補償コンサルタント 株式会社東建工営 50th 2026 ANNIVERSARY

未来のエスキースを描く。 TOHOKU INSTITUTE OF TECHNOLOGY 東北工業大学

日本製紙株式会社

HMTEN 定禅寺通 株式会社橋本店

仙台 秋保温泉／湯めぐり露天の宿 華乃湯

FUKAMATSU 株式会社深松組

FUJIFILM 富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

FUJIFILM 富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン株式会社

仙台の奥座敷／秋保（あきう）温泉 ホテル ニュー水戸屋

明るい衛生環境づくり 宮城衛生環境公社

宮城第一信用金庫 まさむね信ちゃん

YAMADA

RICOH リコージャパン株式会社

順不同

2025 百年の杜づくり あしたのみどりキャンペーン

本キャンペーンは、ご覧の各社・団体の協賛により実施しています。

主催／河北新報社　協力／仙台市